

山科盆地を歩いてみよう!

西南ブロック 外環状線以西・新幹線以南

昔



清水焼団地予定地（東を望む）

▲清水焼団地建設前の風景です。この辺りは高台になっていて山科が一望できます。中央左寄りに見える直線は東海道新幹線。ドラム缶の向こう辺りの町並みは、現山階南小学校や山科中学校の校区です。空気が澄んでいのか山の稜線がくっきりと見えます。（昭和38年、川田清水焼団地町）

エリアコラム
街道を歩く

滑石街道

▼西野山岩ヶ谷町の滑石街道から東方を撮影。上は昭和20年頃の山科盆地を撮影した貴重な写真です。民家はまだ少なく、田んぼが一面に広がる様子が見られます。中央の大きな色の濃い森は、現清水焼団地南辺り、その奥の方に点在するのは、山科本願寺の土塁跡です。

昔



今



勧修寺第1市営住宅 (栗栖野中臣町)

▲山科のモデル団地の第1号。入居競争倍率も高かったそうです。ホースでたらいに水を溜め、洗濯物を洗濯板でしごく女性の姿が懐かしいですね。（昭和31年、栗栖野中臣町）



西野山中臣町上空 (西から東を望む)

▲右上に並んで見えるのは勧修寺第1市営住宅。中央右の森は坂上神社です。手前の旧安祥寺川の東側には明治41年建設の畠田金属の工場敷地が広がっています。水車を設置し、その動力で金粉（真鍮粉等）を製造していました。真鍮粉は仏具などの伝統産業に使用されました。（昭和32年頃、西野山中臣町）

（昭和32年頃、西野山中臣町）



柳沢 (外環状線東側から西を望む)

▲左端の建物は平成10年頃まであった東英家具。現在は、柳沢病院の大きな建物が建ち、新十条通が西へ向かって延びています。現区役所の建物は、画面の右側になります。（昭和39年頃、柳沢草海道町）

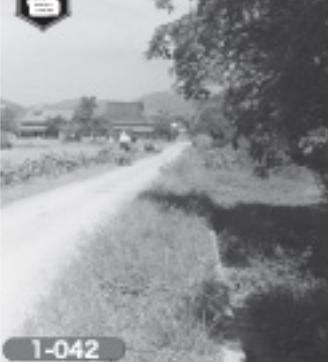


勧修寺 旧安祥寺川沿い（西から東北を望む）



（昭和45年頃、勧修寺東栗栖野町）

▲畑の間に旧安祥寺川が流れ、右に勧修小学校の一部と、正面に坂上田村麻呂墓のある森が見えます。現在、河川は拡張整備され、両岸は遊歩道として、草花や野鳥を愛でながらウォーキングを楽しむ区民の憩いの場となっています。（昭和45年頃、勧修寺東栗栖野町）



オトリ池西畔の道（南から北を望む）

▲この地域は地下水がところどころに湧き出していました。右の写真的道路右側、細長い沼地のような池は山科本願寺の堀跡です。左側は田畠が広がっていました。現在は埋め立てられ、住宅が建ち並んでいます。1532年山科本願寺は、ここから攻め込まれ、焼亡しました。（昭和30年頃、西野左義長町）

エリアコラム 由緒ある歴史 中臣遺跡

中臣遺跡は、後期旧石器時代から室町時代にかけての大規模な複合遺跡です。昭和44年に沿東高校の生徒によって発見され、その後平成に入っても発掘調査は続けられています。写真は平成12年、発掘現場となった勧修寺第1市営住宅の改築建設に伴う発掘調査のときのものです。



エリアコラム カ じゅうじ
有名なお寺や神社 勸修寺



勸修寺は、900年頃に醍醐天皇が亡くなった母のために、宮道氏韶を寺院にしたものと伝えられています。庭園は冰室池の蓮や睡蓮をはじめ、四季を通じて自然を満喫できます。写真爱好者の穴場として他府県にも知られる名刹です。写真は昭和45年頃、勸修寺仁王堂町。